

建設通信新聞

発行所 日刊建設通信新聞社
〒101-0054
東京都千代田区神田錦町3-13-7
電話(03)3259-8711
FAX(03)3259-8730
©日刊建設通信新聞社 2017

ICTエリアに高い関心

産・官・学の優れた建設技術を一堂に集めて紹介する、「けんせつフェア北陸 in 新潟」が1日に新潟市の産業振興センターで開幕した。「生産性革命を支える建設技術」をテーマとした今回は、現場で活用が進むICTに多くの関心が集まっている。

最新技術を一堂に展示

けんせつフェア北陸 in 新潟が開幕

は、北陸地方建設事業推進協議会会長を務める小俣篤北陸地方整備局長が主催者を代表してあいさつした後、来賓の国土交通省総合政策局の奥谷正官房技術参事官が祝辞を寄せた。続いて、関係者でテープカットを行った。

同フェアは、北陸地方の公共工事発注者や建設産業界で構成する実行委員会が主催。民間企業の新技術や新工法、建設機械とともに、発注機関の公共事業、研究機関の研究成果などを共有し、さらなる技術開発と担



関係者によるテープカット

手の確保・育成につなげるのが狙い。この日は13回目を迎える最終日(2日)までに152機関が326技術を出展するほか、37の団体、企業によるプレゼンテーションが行われる。

また、i-Constructionの中核を担う「ICTの全面的な活用(ICT活用工事)の一連の流れを体験できるICT特設展示エリア「グルッと体験『ICT』」を設置。

作業効率、安全性の高さに注目集まる

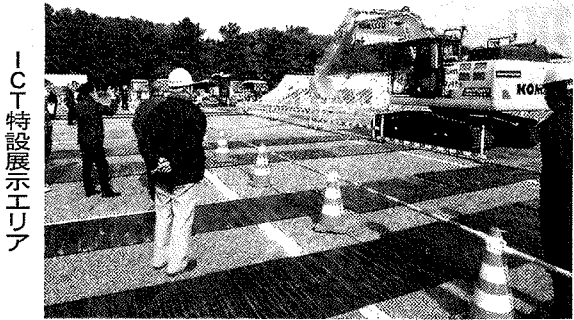
日綜産業がクイックデッキなどを実演

日綜産業は、1、2日に開催中のけんせつフェアで、「クイックデッキ(先行床施工式フロア型システム吊り足場)」のデモンストラーションを実施している。初日には多くの関係者が

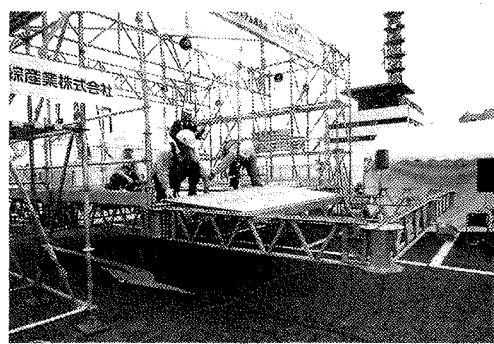
「実際の施工作業に携われる貴重な機会なので、多くのことを吸収し、これからの業務に生かしたい」と話す。

測量機器、施工支援企業、ソフトウェア、建機メーカー、レンタル企業が一堂に会する中、出展企業のトップライズの渡邊卓己測量計測部課長は、「現場のICT化に触れるまたとない機会。若い人が建設業への関心を高める契機になるのでは」と期待を寄せた。

このほか、コマツグループと日本キヤタヒラー、コベルコ建



ICT特設展示エリア



また、「クイックラップ(熱収縮・密着型防水養生シート)」も実演している。